

2020 年度

保健師助産師看護師実習指導者講習会

募 集 要 項

横浜市立大学

1. 目的

看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように、必要な知識・技術を習得し、看護職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2. 主催

横浜市立大学医学部看護学科

3. 期間

2020年8月3日(月)~11月27日(金)

全日数:34日程度

※授業日数は、変動する場合があります。

※上記の日数に e-learning(4科目)の時間は含まれておりません。開講時に提示するモデルケースを参考に、各自が自己学習計画を立て、任意の時間・場所にて受講していただくことになります。

4. 場所

横浜市立大学医学部看護学科看護教育研究棟

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

電話:045-787-2521

※敷地内で場所の変更が生じる場合があります。

※実習場所は、主に横浜市立大学附属 2 病院となります。

5. 受講人員

40名

6. 応募資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす者

(1)神奈川県内の病院等に勤務し、所属長の推薦がある者

(2)保健師、助産師、看護師の資格取得後3年以上の実務経験を有し、現在、病院等で実習指導を担当している者、又は今後担当する予定の者(実務経験年数は2020年4月30日現在とする)

7. 教育内容

【教育目的】

看護教育についての理解を深め、実習指導に必要な知識・技術を習得し、効果的な実習指導ができる人材を育成する。

【教育目標】

1. 実習指導の基礎となる教育的素地を養う。
2. 自己の看護実践を振り返り、看護に対する認識を深める。
3. 看護教育における臨地実習の意義を理解し、実習指導者の役割について学ぶ。
4. 実習指導の実際を振り返り、自己の課題を見つけ、学習を継続する態度を養う。

8. 修了証書

講習会修了者には、修了証書を交付する(全体の 4/5 以上出席が必要である)

9. 提出書類

(1) 受講申込書(様式 1-1)

(2) 推薦書(様式 1-2)

(3) 受講者の課題(様式任意、書式設定あり)

テーマ「実習指導者講習会で学びたいことー実習指導における課題と将来像ー」

上記をテーマとした小論文を、A4 版 1 枚(1,200-1,400 字)にまとめる。原則として、PC を用いて書式設定は、フォント:MS 明朝、文字サイズ:11 ポイント(タイトルのみ 14 ポイント)、文字数:42 字(1 行)×行数:36 行、余白:上下 30mm、左右 25mm、を厳守すること。なお、用紙には、テーマ、所属名、氏名、具体的内容(本文)の順に記載し、本文の前には一行スペースを設ける等、適宜レイアウトを整えること。本文に用いる英数字はすべて半角とする。

10. 提出期日

2020 年 5 月 29 日(金)(必着)

11. 提出先

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

公立大学法人 横浜市立大学

医学・病院統括部

医学教育推進課 学務・教務担当

実習指導者講習会事務局

12. 受講者の決定

選考の上、所属施設長(看護部長)あてに通知する。

13. 受講料

36,800 円(予定)

※e-learning 受講費用(昨年度参考 16,800 円)を含みます。

※その他、書籍・テキスト代、交通費は自己負担となります。

※受講料振込みの案内は、後日受講者宛に通知の予定です。

【カリキュラム】 科目・担当講師一覧

科目	時間	担当講師等	所属	職名
【教育に関する科目】				
教育原理*	6(30)		*e-learning	
教育心理*	18(30)		*e-learning	
教育方法** : 指導の基本的考え方 : 講義・演習	30(15)		*e-learning	
	15	佐藤政枝	横浜市立大学医学部看護学科	教授
教育評価*	6(15)		*e-learning	
看護(教育)論: 看護の理論、看護過程の展開	18	筒井真優美	横浜市立大学医学部看護学科	教授
看護教育課程(1): 看護教育課程の理解	4	落合亮太	横浜市立大学医学部看護学科	准教授
(2): カリキュラムの構成と 実習のねらい	4	有本梓	横浜市立大学医学部看護学科	准教授
(3): 各領域の教育課程 (基礎、成人(慢性期) 成人(急性期)小児、母性 老年・在宅、精神、地域)	16	佐藤みほ (各領域教員)	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科	准教授
(4): 課題の構造化	6	丸山幸恵	横浜市立大学医学部看護学科	講師
【看護実践に関する科目】				
医療倫理・看護倫理	2	勝山貴美子	横浜市立大学医学部看護学科	教授
学生に関する情報収集とアセスメント、 指導目標の設定と方法	4	竹内翔子	横浜市立大学医学部看護学科	講師
指導場面で遭遇しやすい看護実践と指導 の実際	16	佐々木晶世 (各領域教員) 濱崎登代子 鈴木美智子	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合 医療センター	講師 看護部長 看護部長
安全管理	4	塚越みどり	横浜市立大学医学部看護学科	准教授
多職種連携・チーム医療・継続医療	2	勝山貴美子	横浜市立大学医学部看護学科	教授
【実習指導等に関する科目】				
実習指導の原理(1): 実習指導とは : 実習指導者の役割 : 施設との連携・調整	7	渡邊眞理	横浜市立大学医学部看護学科	教授
(2): 実習受け入れの体制 : 病棟指導の実際 (オリエンテーションからカンファレンスまで)	7	濱崎登代子 鈴木美智子	横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合 医療センター	看護部長 看護部長
臨地指導法演習 : 実習に必要な看護技術	16	大山裕美子	横浜市立大学医学部看護学科	准教授
実習指導の実際(1): 実習指導の計画立案	12	佐藤朝美 (各領域教員) 濱崎登代子 鈴木美智子 (実習指導者)	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合 医療センター	准教授 看護部長 看護部長
(2): 臨地実習 : リフレクション	40	濱崎登代子	横浜市立大学附属病院	看護部長
	4	鈴木美智子 (実習指導者)	横浜市立大学附属市民総合 医療センター	看護部長
実習指導の評価	16	飯田真理子 濱崎登代子 鈴木美智子	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合 医療センター	准教授 看護部長 看護部長
【看護師2年課程通信制に関する科目】				
看護師2年課程通信制の教育制度	2	田辺有理子	横浜市立大学医学部看護学科	講師

*: 授業に e-learning を採用 **: 授業の一部に e-learning を採用

※ 時間欄の () 内は、e-learning 形式の授業時間数を示します。

※ 担当講師は都合により、変更することがあります。

2020年度 実習指導者講習会 日程表

日程	実施日	【午前】	【午後】
		科目名	科目名
		(1限) 8:30~ 9:30 (2限) 9:35~10:35 (3限) 10:45~11:45 (4限) 11:50~12:50	(5限) 13:40~14:40 (6限) 14:45~15:45 (7限) 15:55~16:55 (8限) 17:00~18:00
第1日目	8月3日(月)	開講式・オリエンテーション	オリエンテーション
第2日目	8月4日(火)	看護教育課程(1)①②③④ 看護教育課程の理解	
第3日目	8月5日(水)	看護教育課程(2)①②③④ カリキュラムの構成と実習のねらい	看護師2年課程①②
第4日目	8月19日(水)	教育方法①②③④	教育方法⑤⑥⑦⑧
第5日目	8月21日(金)	教育方法⑨⑩⑪⑫	教育方法⑬⑭⑮
第6日目	8月25日(火)	看護教育課程(3)①②③④ 各領域の教育課程	看護教育課程(3)⑤⑥ 各領域の教育課程
第7日目	8月26日(水)	看護教育課程(3)⑦⑧⑨⑩ 各領域の教育課程	看護教育課程(3)⑪⑫ 各領域の教育課程
第8日目	8月27日(木)	看護教育課程(3)⑬⑭⑮⑯ 各領域の教育課程	
第9日目	9月1日(火)	看護(教育)論①②③	看護(教育)論④⑤⑥⑦
第10日目	9月2日(水)	看護(教育)論⑧⑨⑩⑪	
第11日目	9月4日(金)	看護(教育)論⑫⑬⑭	看護(教育)論⑮⑯⑰⑱
第12日目	9月8日(火)	看護教育課程(4)①②③④	看護教育課程(4)⑤⑥
第13日目	9月15日(火)	実習指導の原理(1)①②③④	実習指導の原理(1)⑤⑥⑦
第14日目	9月16日(水)	実習指導の原理(2)①②③④	実習指導の原理(2)⑤⑥⑦
第15日目	9月23日(水)	安全管理①②③④	学生に関する情報収集とアセスメント①②③④
第16日目	9月24日(木)	医療倫理・看護倫理①② 多職種連携①②	
第17日目	9月29日(火)	指導場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際(各領域)①②③④	指導場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際(各領域)⑤
第18日目	9月30日(水)	指導場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際(各領域)⑥⑦⑧⑨	指導場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際(各領域)⑩⑪⑫
第19日目	10月1日(木)	指導場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際(各領域)⑬⑭⑮⑯	

2020年度 実習指導者講習会 日程表

日程	実施日	【午前】	【午後】
		科目名	科目名
		(1限) 8:30~ 9:30 (2限) 9:35~10:35 (3限) 10:45~11:45 (4限) 11:50~12:50	(5限) 13:40~14:40 (6限) 14:45~15:45 (7限) 15:55~16:55 (8限) 17:00~18:00
第20日目	10月7日(水)	臨地指導法①②	
第21日目	10月8日(木)	臨地指導法③④⑤⑥	臨床指導法⑦⑧⑨
第22日目	10月12日(月)	実習指導の実際①①②③④	実習指導の実際①⑤⑥
第23日目	10月13日(火)	実習指導の実際①⑦⑧⑨	実習指導の実際①⑩⑪⑫
第24日目	10月15日(木)	臨地指導法⑩⑪⑫⑬	臨地指導法⑭⑮⑯
第25日目	10月20日(火)	実習指導の評価①②③④	実習指導の評価⑤⑥
第26日目	10月21日(水)	実習指導の評価⑦⑧⑨⑩	実習指導の評価⑪⑫
第27~31 日目	10月26日(月) ~	実習指導の実際(2):臨地実習1クール目①~④⑩:各20名	
	11月13日(金) のいずれか 5日間	実習指導の実際(2):臨地実習2クール目①~④⑩:各20名	
第32日目	11月16日(月)	実習指導の実際(2)①②③④	
第33日目	11月17日(火)	実習指導の評価⑬⑭⑮⑯	
第34日目	11月27日(金)	閉講式	

※1) ①②③…の数字は講義回数(各1時間)を示しています。

※3) 日程は諸事情により一部変更になる場合があります。その際は大学webページの講習会の案内ページにてお知らせします。

※4) 臨地実習(5日間)は2クールに分けて、各20名で実施します。ただし、諸事情によりクールを跨ぐ期間に設定される場合があります。その際は事前にお知らせをいたします。

「保健師助産師看護師 実習指導者講習会」申込書

年 月 日現在

フリガナ		フリガナ		写真 3×4cm
氏名	印	現住所 ※両メールアドレ ス必須	〒 — TEL () 携帯 mail @ PC mail @	
性別	男 ・ 女			
生年月日 (年齢)	(和暦) 年 月 日 (満 歳)	勤務先 (部署名)	〒 — TEL ()	
学 歴 (高等学校以降の学歴をご記入下さい)※高校卒業含む				
年 月		事 項		
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
職 歴 (実務経験及び実習指導経験、病棟名・診療科と職位をご記入下さい)				
年 月		事 項		
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
現在の職位又は役職() / 実務年数 計()年				
免 許 ・ 資 格 (保健医療に関する事項)				
年 月		事 項		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
〈緊急連絡先〉 氏名		続柄		
住所 〒 —				
TEL(携帯電話) ()				
<input type="checkbox"/> 私は、推薦のあった現勤務先に在職し、本講習会を受講いたします。 ※ 同意できる場合には <input checked="" type="checkbox"/> を入れて下さい。				

横浜市立大学

年 月 日

横浜市立大学
学長 相原道子 様

推 薦 書

2020 年度 実習指導者講習会受講者として、当施設より下記の者を推薦いたします。

受講希望者氏名 _____

推薦理由

受講希望者の本講習会への派遣について、該当するものに○を付けてください。

1. 研修として勤務扱い 2. 左記以外(_____)

※よろしければ、具体的な扱いをお書きください。

施設名 _____

施設長(看護部長等)署名

推薦者署名

役職 氏名

印 役職 氏名

印

2020年度 実習指導者講習会 科目の概要

科目	概要
教育原理	教育の意義、教師のあり方や生徒指導、さらには教育を成り立たせている法や制度等、幅広い観点から教育の基礎について理解する。
教育心理	社会の変化や人間の成長発達、性格の特徴といった観点から、教育の受け手である子どもや青年の特徴について理解する。
教育方法論	日本の教育の特徴を踏まえて、教育と学びの歴史、学習指導の実際と指導技術、いろいろな指導法について理解し、事例研究的教授法について実習する。
教育方法論（講義・演習）	学習者の理解と、学習者を動機づけることの意味と意義を理解する。また、教育カリキュラムの基本的要素である教育内容、方法、その効果的な教材の活用など学習する。また、自身の持つ臨床実習上の問題を、事例を通して検討することを通して、看護専門職としての効果的な教育方法について理解する。
看護（教育）論	社会の変動の中における教育と看護について理解し、その課題を明確にする。講義は、看護学教育制度の歴史的変遷と現代の看護学教育制度の現状と課題、看護の概念と理論、看護を展開する方法としての看護過程を学ぶ。
医療倫理・看護倫理	倫理とは何かという基本的な概念を理解し、なぜ、医療において倫理に注目すべきか、臨床における倫理的な課題をどのようにとらえ、考えるべきか、その道筋を理解する。
教育評価	教育評価の目的や必要となる視点や評価方法について、日本の教育改革の変遷をたどりつつ理解する。
看護教育課程（1）	看護職基礎教育課程の基盤となっている保健師・助産師・看護師学校養成所の指定規則やそれに関連する法律、国家試験出題基準の変遷や厚生労働省や文部科学省の看護基礎教育に関する報告書等の経緯を知り、現在の教育の目指す方向性について理解する。
看護教育課程（2）	本大学の設置主体や教育方針に基づいた看護学科の教育理念、目標とカリキュラムの構成について理解する。
看護教育課程（3）	各看護学領域（基礎、成人（慢性期、急性期）、小児、母性、老年・在宅、精神、地域）の教育課程について、教育目的・目標・内容、および実習指導のあり方と実際への理解を促す。
看護教育課程（4）	看護教育課程(1)～(3)で概観した看護教育課程の現状と課題を踏まえ、臨地実習における指導のあり方を検討する。
学生に関する情報収集とアセスメント	近年の学生状況と生活背景を踏まえ、学生に関する情報収集の視点・方法について理解する。また、臨地での学生の事例をもとに、情報のアセスメントを行い、具体的な指導目標の設定と方法について理解する。
実習場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際	各看護学領域（基礎、成人（慢性期、急性期）、小児、母性、老年・在宅、精神、地域）の看護実践について、①実習場面で遭遇しやすい紙上事例の看護過程を展開、および②指導者としての立場からの学生への指導・支援のあり方と実際、の2点からグループワークを中心とした学習を展開する。
安全管理	臨床実習におけるインシデントやヒヤリ・ハットの事例や対応、学生側の心理などを紹介し、臨床実習場面における予防策、教育的支援について理解する。
多職種連携・チーム医療・継続医療	現在の医療情勢における多職種連携、多機関間の連携の重要性を知り、チーム医療や継続医療のあり方について理解する。
実習指導の原理（1） 実習指導の原理（2）	学生が各看護学の講義・演習により得た知識、技術を基に看護を実践し、既習の理論・知識・技術を統合、深化、検証できるように支援するための原理原則と、学校と実習施設との調整に関する具体的な方法を理解する。
臨地指導法演習	臨床実習に必要な援助技術の演習等に実際に参加し、看護基礎教育の実際や学生のレディネスを理解するとともに、グループワーク等を通じて臨床実習場面における教育的支援や教育方法を討論する。
実習指導の実際（1）	配置された病棟の実習指導を前提に、実習指導の計画立案の実際を学ぶ。
実習指導の実際（2）	実習指導計画をもとにした臨地実習指導の実際を学ぶ。 実習指導実施後に、リフレクションを行う。
実施指導の評価	実習指導の原理を踏まえ、実習指導の実際を通して、実習指導の評価を行う。
看護師2年生課程通信制の教育制度	看護師2年生課程通信制の教育制度についての解説を行う。